

集会アピール

3.8 国際女性デーは、1857 年、ニューヨークの被服工場で多くの女性が亡くなった火災事故をきっかけとして、3 月 8 日に行われた低賃金・長時間労働への抗議行動が起源と言われています。

そうした原点に思いを馳せながら、今日、私たちは Web で、そして 3 年ぶりに対面でも集い、「2023 春季生活闘争 3.8 国際女性デー 全国統一行動 中央集会」において、春季生活闘争でもジェンダー平等・多様性推進の取り組みをさらに加速させていく決意をあらためて確認しました。

本年の 3.8 国際女性デー 全国統一行動のテーマは、“今こそ Change, Challenge, Movement! ～社会のすべての仕組みにジェンダーの視点を～”です。

世界的には、意思決定過程に女性がいる光景が決して珍しいものではなくなり、むしろ、意思決定過程に女性がいない光景の方が、奇異の目で見られる社会になってきました。

一方、日本ではそんな当たり前の光景がまだ多くの場所で見られないばかりか、ジェンダー主流化や、多様性を認め合う流れに逆行するかのような差別、人権侵害が後を絶ちません。

日本は今こそ、ジェンダー主流化を加速させ、遅れを取り戻す必要があります。性別、年齢、国籍、障がいの有無、就労形態などにかかわらず、多様性を認め、だれもが等しく力を発揮できる環境が整備され、すべての人が互いに支え合える社会を一刻も早く実現するために、私たち労働組合も一層の努力が求められます。

本集会に集まった一人ひとりの行動で、すべての人たちの人権を尊重し、平等に、安心して働くことができる社会をめざしましょう。

2023 年 3 月 8 日
連合 2023 春季生活闘争 3.8 国際女性デー 全国統一行動 中央集会